受付管理システム説明書

本プログラムは下記の機能があります

CTI 機能あり：受付管理システム CTIV1.5.accde、,CTI 機能なし：受付管理システム V1.5.accde

1.[カレンダ/日記/行事表示]：一か月間のカレンダ画面を表示(日記内容と予約内容を切替表示),各日付を指定して日記/予定/行事/写真等の登録と予約内容詳細(件数と金額)の表示,また過去 3 か年間の日記表示,日記内容の文字列検索,一か月間のカレンダ内容や予約状況(件数と金額)をプリント出力

2.[メンバ登録]：顧客/取引先/その他に分類しメンバ情報を登録と管理(CTI 連携で登録の電話番号で自動的に各画面表示)(注1参照)

3.[問合登録]：メンバ(顧客/その他)からクレームや問合せなどの情報を登録と管理,(CTI 連携で自動画面表示),対応状況経緯の管理や過去事例(問合商品やキーワードなど)を参照可能

4.[予約登録]：メンバ(顧客)からの予約・契約内容を登録(CTI 連携で自動画面表示),予約内容(件数と金額)から実績(件数と金額)までの経緯を管理

5.[仕入登録]：メンバ(取引先)からの商品仕入れ登録(CTI 連携で自動画面表示),発注～納品までの管理

6.[在庫管理]：[仕入登録]で登録の商品と商品の支出・使用を登録し在庫管理,棚卸時に商品を一括変更

7.[メール送信]：送信メール内容の登録と選択メンバへのメール送信(メーラー未使用)

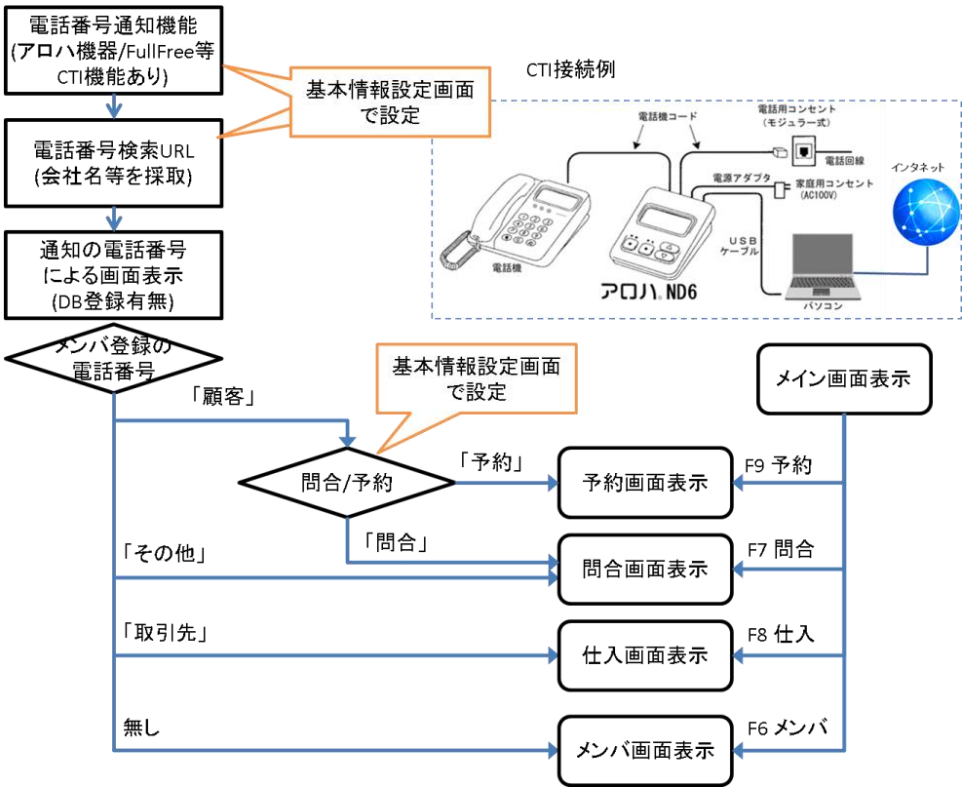
8.各登録管理データの Excel ファイル出力(必要に応じて Excel で分析・解析可能)」

9.CTI 機能使用の場合 FullFree ソフト(CTI 機能)連携と電話番号検索 URL を参照で不審電話等を表示

10.各種データ書込み時にログファイル(受付管理ログ.csv)に書込み

※CTI とは Computer Telephony Integration の略

（注1）



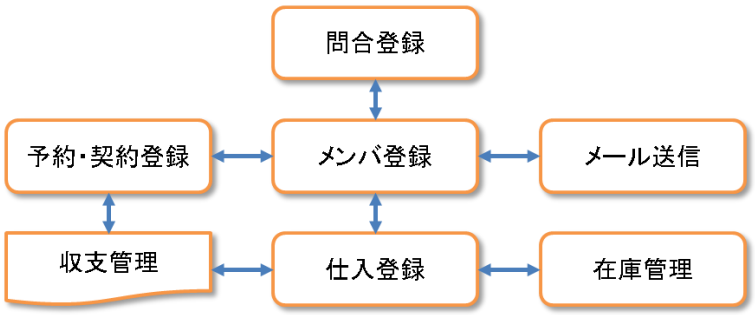
【改版履歴(最近)】

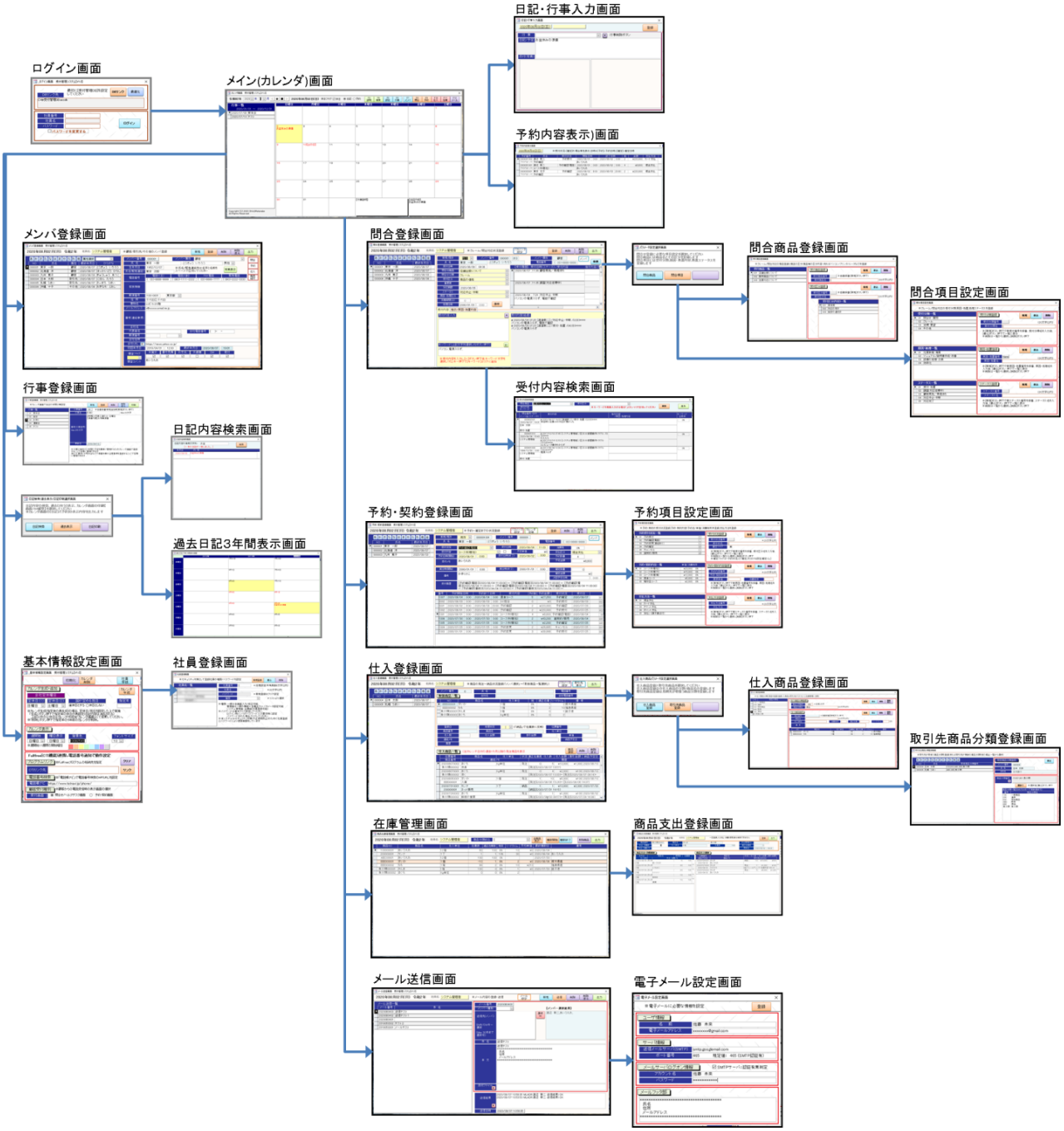
■V1.5:カレンダ生成の不具合修正,InternetExplorer のサポート停止対応/電話番号検索を「電話帳ナビ」に変更

■V1.4:不具合の修正,

■V1.0:初版発行

1. 画面遷移


問合登録
予約・契約登録
メンバ登録
メール送信
収支管理
仕入登録
在庫管理


日記・行事入力画面
ログイン画面
メイン(カレンダ)画面
予約内容表示)画面
メンバ登録画面
問合登録画面
問合商品登録画面
問合項目設定画面
行事登録画面
受付内容検索画面
日記内容検索画面
過去日記3年間表示画面
予約・契約登録画面
予約項目設定画面
基本情報設定画面
社員登録画面
仕入登録画面
仕入商品登録画面
取引先商品分類登録画面
在庫管理画面
商品支出登録画面
メール送信画面
電子メール設定画面

2. 導入準備

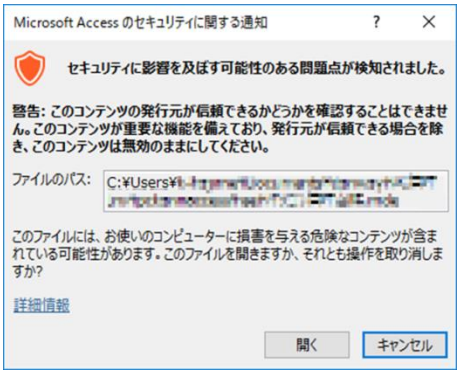
(1) システム管理者の作業

① リリースの『RcpMngVx.x.zip』を解凍し,システム管理者は受付管理データベース(受付管理 DB.accdb)を共有ファイルサーバ等(各社員/店舗内のパソコンからアクセス可能な場所)に置く

② .各メンバのパソコンに MS_Access Runtime(無償)をダウンロードしインストール

③ .各メンバのパソコンの任意のフォルダに CTI 機能使用の場合:受付管理システム(受付管理システム CTIVx.x.accde)を置く、CTI 機能不使用の場合:受付管理システム(受付管理システム Vx.x.accde)を置く

④ 受付管理プログラムを起動,【ログイン画面】で[DB リンク]ボタンを押下し共有ファイルサーバの受付管理データベース(受付管理 DB.accdb)を選択 ※Access RunTime 上で動作の場合起動時『Microsoft Access セキュリティに関する通知』メッセージを表示, [開く]ボタン押下し実行



⑤ 【ログイン画面】で[社員番号]-[Admin]を入力,[新パスワード]にパスワードを入力,[パスワード登録]ボタン押下で新パスワード登録完了

⑥ 再度ログイン画面で[社員番号]-[Admin]を入力,[パスワード]を入力し[ログイン]ボタン押下で【基本情報設定画面】表示,「カレンダ作成]ボタン押下しカレンダデータ作成

⑦ 必要に応じて【基本情報設定画面】-【社員登録画面】で社員を登録(後で登録可能)

⑧ 必要に応じて【行事登録画面】の設定(後で登録/変更可能)

⑨ 必要に応じて【問合登録画面】-【受付商品登録画面】で受付商品/受付区分を登録(後で登録/変更可能), 【受付項目設定画面】で受付分類/原因・処置区分/ステータスを登録(後で登録/変更可能)

⑩ 必要に応じて【予約・契約登録画面】-【予約項目設定画面】で予約受付状況/予約・契約内容/支払方法を登録(後で登録/変更可能)

⑪ 必要に応じて【仕入登録画面】-【仕入商品登録画面】で仕入商品/仕入商品分類を登録(後で登録/変更可能), 【取引先の商品分類登録画面】で仕入商品分類を登録(後で登録/変更可能),

(2) 各パソコンでの作業

1. 受付管理システムを起動,【ログイン画面】で[DB リンク]ボタンを押下し共有ファイルサーバの受付管理データベース(受付管理 DB.accdb)を選択 ※Access RunTime 上で動作の場合起動時『セキュリティに関する通知』メッセージ表示, [開く]ボタン押下し実行
2. DB リンクの設定(【ログイン画面】の[DB リンク]ボタン押下し「受付管理 DB.accdb」ファイルを選択)
3. 【ログイン画面】でシステム管理者から連絡の[社員番号]を入力しパスワード設定後,ログイン実施
4. 【メイン(カレンダ)画面】表示
5. 必要に応じて【メール送信画面】-【電子メール設定画面】でユーザ情報/送信メールサーバ情報/ログイン情報の設定(後で登録/変更可能)
6. CTI 機能使用の場合【基本情報設定画面】の FullFree(CTI 連携)ソフト,電話番号検索ソフト(「電話帳ナビ」固定)の URL,顧客からの電話受信時の表示画面の選択(問合登録画面/予約・契約登録画面)(後で登録/変更可能) ※FullFree ソフト(CTI 機能)の導入事例は末尾に記載

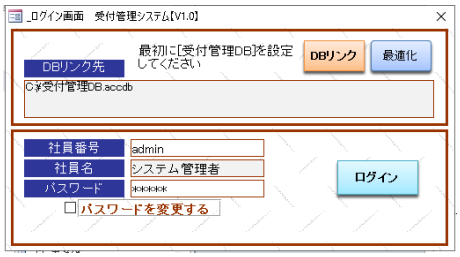
(3) 各パラメータの設定・説明

問合登録のパラメータ	説　明
問合商品	問合せ・クレーム対応の商品等(全般/XX商品/YY商品など)
└問合区分	問合商品毎の問合切分け区分(分析/集計のための切分け内容)
受付分類	問合・質問/クレーム/依頼・要望/故障・修理/その他などの分類
原因・処理	受付内容の根本原因・処置分類(作業ミス/商品不良/マニュアル不備など)
ステータス	受付～対応完了までの状況(受付・指示/調査中/対応中断/完了など)
重要度	固定(緊急対応/高・中・低レベル/次回対応)

予約・契約登録のパラメータ	説　明
受付状況	予約受付～確定/直契約・販売などの状況(受付-確認-変更/キャンセル-確定など) [確定フラグ]で予約と実績の判断
予約・契約内容	予約・契約の商品名/サービス名など(標準金額と消費税を設定)
支払方法	現金支払/カード支払/チケット支払/ポイント支払など

仕入商品登録のパラメータ	説　明
仕入商品分類	取引先から仕入る商品の分類(野菜類/果物類/肉類/魚介類/土産類など)
└仕入商品	商品分類の詳細の商品(仕入単位消費税/適正在庫/リードタイムなど)
取引商品分類	取引先が扱う商品分類を選択(例えば,野菜と果物を選択することで取引先を選択すると対象の商品を全て表示)

3.　ログイン画面



(1)　プログラム起動時に最初に実施すること

①　[DB リンク]ボタンを押下し「ファイル選択」画面で,『受付管理 DB.accdb』を選択しリンクを張る

②　その後,「社員番号」/「パスワード」入力し[ログイン]ボタン押下で【メイン(カレンダ)画面】表示
※最初にログインする場合(パスワード未登録)は,「パスワードを変更する」チェックを設定し「新パスワード」に入力し[パスワード登録]ボタン押下後,再度「パスワード」入力し[ログイン]ボタン押下

(2)　1回/月程度,[最適化]ボタンを押下し『受付管理 DB.accdb』の最適化を実施(使用中に DB が増大する為)

(3)　[X](右上)押下で本プログラムの終了(【メイン(カレンダ)画面】の[×]押下で本画面表示)

(4)　システム管理者が最初に実施すること

①　[社員番号]-[Admin]を入力,[パスワード]を入力し[ログイン]ボタン押下で【基本情報設定画面】表示,「カレンダ作成]ボタン押下しカレンダデータ作成

②　必要に応じで【基本情報設定画面】-【社員登録画面】で社員を登録(後で登録可能)

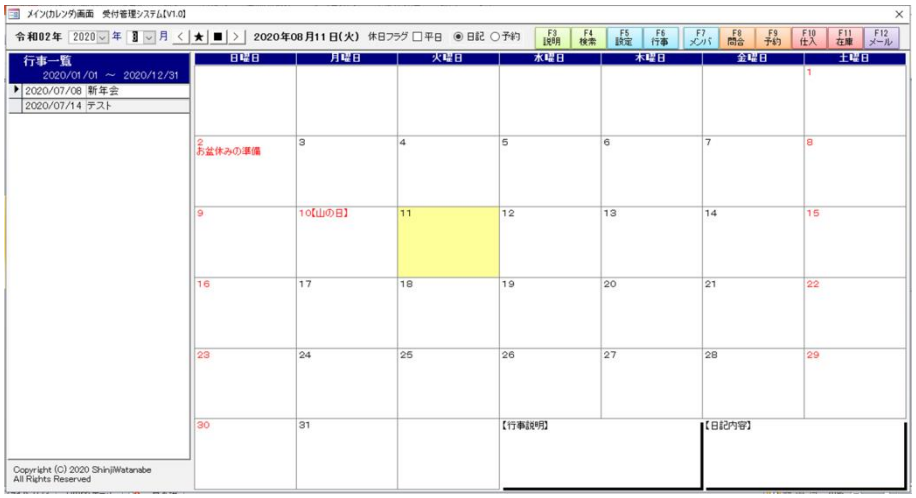
③　必要に応じで【行事登録画面】の設定(後で登録/変更可能)

④　必要に応じで【問合登録画面】-【受付商品登録画面】で受付商品/受付区分を登録(後で登録/変更可能),【受付項目設定画面】で受付分類/原因・処置区分/ステータスを登録(後で登録/変更可能)

⑤　必要に応じで【予約・契約登録画面】-【予約項目設定画面】で予約受付状況/予約・契約内容/支払方法を登録(後で登録/変更可能)

⑥　必要に応じで【仕入登録画面】-【仕入商品登録画面】で仕入商品/仕入商品分類を登録(後で登録/変更可能),【取引先の商品分類登録画面】で仕入商品分類を登録(後で登録/変更可能),

4. メイン(カレンダ)画面



(1) 画面説明

① [年月エリア]:カレンダ部を指定年/月/<(前月)/★(当月)/>(翌月)で表示,■で左部の行事一覧を再表示

② 休日フラグはカレンダ部の指定日を平日/休日に設定変更

③ [日記/予約]:カレンダ部の表示内容を日記/行事を表示,予定・契約内容(数/金額)を表示の切替え

④ {F3 説明]ボタン:『「受付管理説明書.pdf』ファイル(固定)を表示(プログラムと同一フォルダに設置必要)

⑤ [F4 検索]ボタン:【日記内容検索画面】表示で予定・日記内容の文字列検索結果を表示

⑥ [F5 設定]ボタン:【基本情報設定画面】表示でカレンダの追加/カレンダ表示/ FullFree(CTI 機能)と連携し電話番号通知の動作設定,[初期化]/[カレンダ削除(5 年以前のデータを削除)]/[社員登録]ボタン

⑦ [F6 行事]ボタン:【行事登録画面】表示で行事内容登録(行事の日付は【日記/行事入力画面】の「行事」選択で決定)

⑧ [F7 メンバ]ボタン:【メンバ登録画面】表示,メンバ情報の登録/更新/削除/Excel 出力

⑨ [F8 問合]ボタン:【問合登録画面】表示でメンバ(顧客/その他)からの問合・クレーム等の内容を登録/更新/削除/Excel 出力

⑩ [F9 予約]ボタン:【予約・契約登録画面】表示でメンバ(顧客)からの予約・契約内容や経過の登録/更新/削除/Excel 出力と管理パラメータの設定

⑪ [F10 仕入]ボタン:【仕入登録画面】表示でメンバ(取引先)からの商品の仕入内容や経過の登録/更新/削除/Excel 出力と管理パラメータの設定

⑫ [F11 在庫]ボタン:【在庫管理画面】表示で商品の在庫状況を表示/棚卸結果入力/Excel 出力と支出/使用数を入力

⑬ [F12 メール]ボタン:【メール送信画面】表示でメール内容の登録・送信/更新/削除と電子メール設定

⑭ 「行事一覧」(左)は【日記行事登録画面】で設定した行事一覧を表示,行事を選択するとカレンダ部が指定日に移動表示

⑮ [×](右上)押下で【ログイン画面】を表示

(2) 日記行事入力画面操作

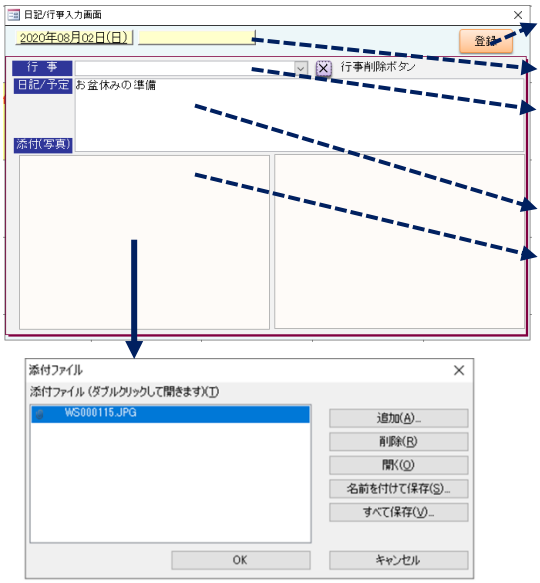
① カレンダ部の指定日をダブルクリックし【日記行事入力画面】(下記)を表示

② 「行事」(選択)/「ToDo・予定・日記」を入力し[登録]ボタン押下でカレンダ部に内容表示

③ 「行事」を取消す場合,[X]ボタン押下で行事削除(カレンダ部からも削除)

④ [添付(写真)]をダブルクリックし[添付ファイル画面]表示([添付]登録(カレンダ部に★表示)

【日記行事登録画面】



・[登録]ボタン押下で行事/日記・予定内容を書込み
・カレンダ部で指定日の「年月日」/「祝日」を表示
・必要に応じて「行事」(選択)し(選択をキャンセルする場合,[×]ボタン押下),
・「日記/予定」に日記・予定等を入力
・「添付(写真)」(2 画面)をダブルクリックすると【添付ファイル】画面表示,[追加]ボタン押下しファイルを選択で画像ファイルを取込み表示

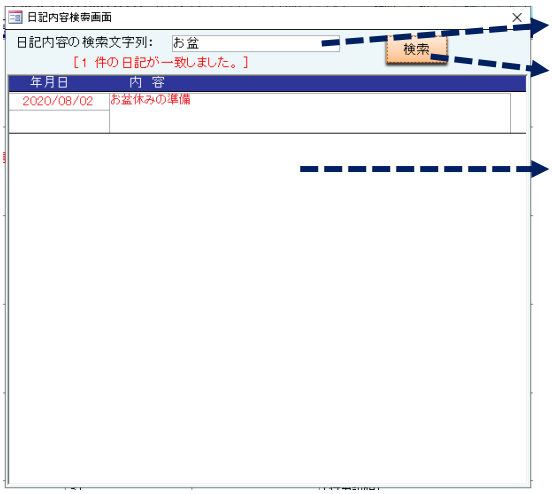
【予約・契約状況表示画面】

・【予約・契約登録画面】で登録のカレンダ部日付の対象の予約・契約内容詳細を表示

5. 検索画面

(1) 【日記内容検索画面】

※[検索]ボタン押下し･[日記検索]ボタン押下で【日記内容検索画面】表示



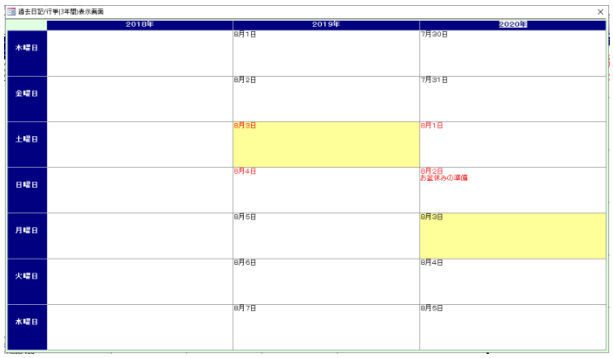
・日記内の検索文字入力

・[検索]ボタン：検索文字入力で不完全一致の検索実施

・検索結果を表示

(2) 【過去日記/行事(3 年間)表示画面】([過去表示]ボタン押下)

※[検索]ボタン押下し[過去表示]ボタン押下で【過去日記/行事(3 年間)表示画面】表示



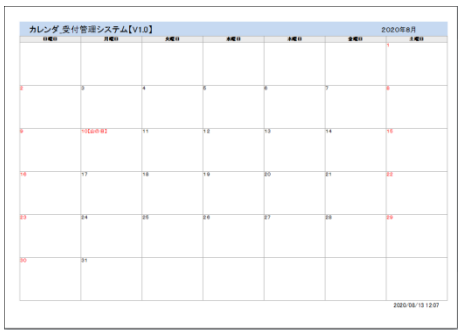
【メイン(カレンダ)画面】のカレンダ部で指定の日付の前後 1 週間の祝日/行事/日記内容を表示,また当年を含む過去 3 年分の 1 週間の祝日/行事/日記内容を表示

(3) 【日記プリント出力】

※[検索]ボタン押下し[日記印刷]ボタン押下で日記のプリント出力

【メイン(カレンダ)画面】のカレンダ部で指定の年月の祝日/行事/日記内容/予約･契約状況プリント出力

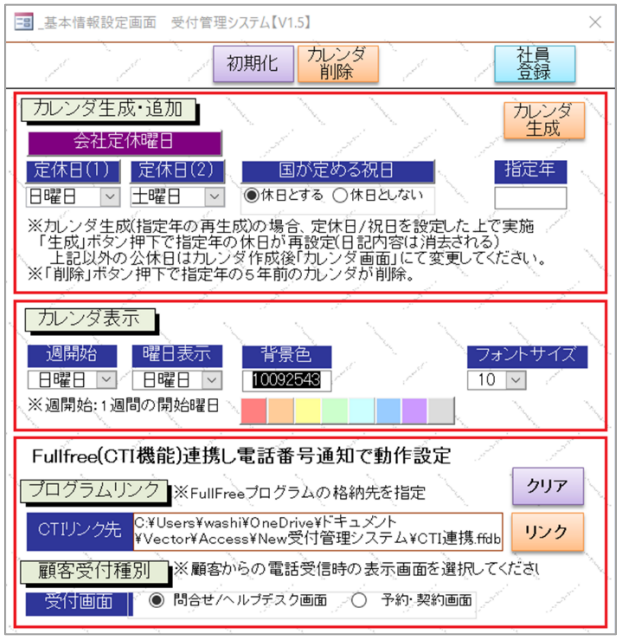
① 画面イメージの印刷



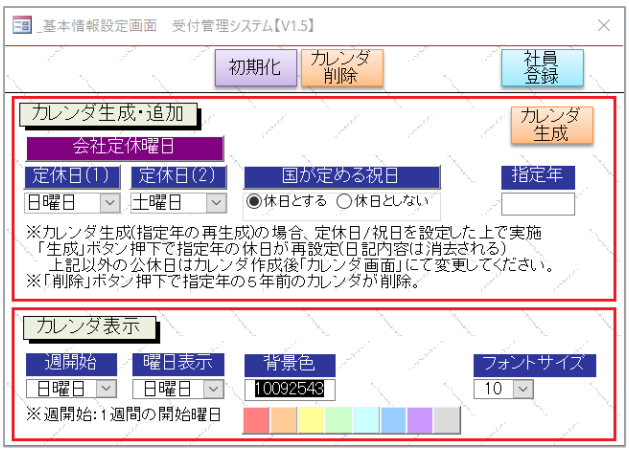
② A4縦日記形式の印刷

6. 基本情報設定画面

CTI 機能あり（受付管理システム CTIV1.5.accde）



CTI 機能なし（受付管理システム V1.5.accde）



(1) [×](右上)押下で【メイン(カレンダ)画面】表示

(2) [初期化]ボタン押下で受付管理 DB.accdb(データベース)の全データを削除

(3) [カレンダ削除]ボタン押下でカレンダ/健康/家計簿データの「指定年」で指定の 5 年以前のデータを削除

(4) [社員登録]ボタン押下で【社員登録】画面表示

(5) 「カレンダ生成・追加」(【メイン画面】で新年を選択した場合,年のカレンダデータを再設定の場合)

① 「定休日」はカレンダデータの休日フラグ(赤表示)の設定

② 「国が定める祝日」はカレンダデータの休日フラグ(赤表示)の設定

③ 「指定年」を指定し[カレンダ生成]ボタン押下でカレンダデータと生成(長時間かかります)

※【メイン(カレンダ)画面】のカレンダ部で新規年月を指定した場合,本画面を表示「指定年」に新規年を設定

(6) 「カレンダ表示」設定

① 「週開始」は【メイン画面】のカレンダ部の開始曜日を設定

② 「曜日表示」は【メイン画面】のカレンダ部の曜日表示を設定

③ 「背景色」(色ボタン)押下で【メイン画面】のカレンダ部の指定日の色を設定

④ 「フォントサイズ」は【メイン画面】のカレンダ部のフォントサイズを設定

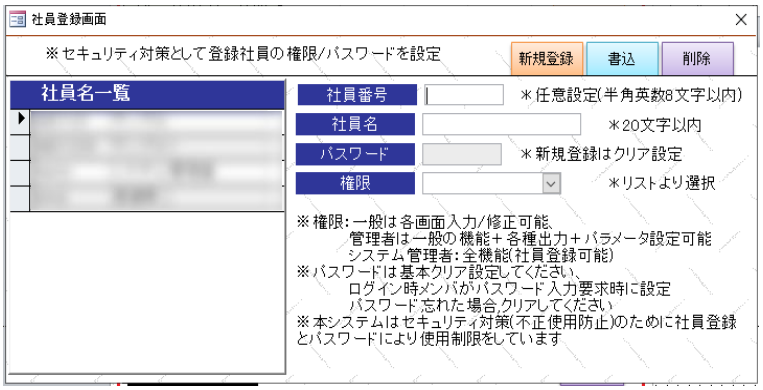
(6) CTI 機能ありの場合 FullFree(CTI 機能)連携し電話番号通知の動作設定

① 「プログラムリンク」の[リンク]ボタン押下し FullFree(例：CTI 連携.ffdb)プログラムの格納先を指定,[クリア]ボタン押下で格納先内容をクリア

② 「顧客受付種別」の「メンバ(顧客)」からの電話番号受信時に自動表示する画面を選択(問合登録画面/予約・契約登録画面),パソコン毎に対応を変えため設定を変更可能

(注) InternetExplorer サポート停止に伴い電話番号検索は「電話帳ナビ」に固定

7. 社員登録画面



(1) 社員登録

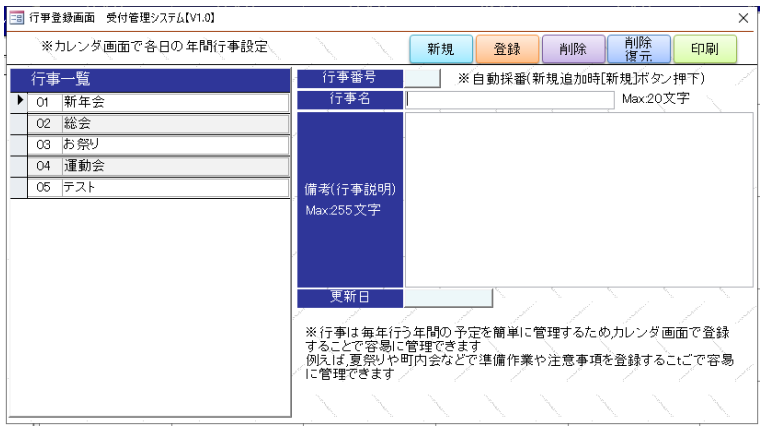
① [新規登録]ボタン押下し「社員番号」/「社員名」/[権限]を入力し[書込]ボタン押下で DB 登録,

② 社員がパスワードを忘れた場合「社員名一覧」から社員を選択し「社員情報」表示,パスワードをクリアして[書込]ボタン押下し DB に再書込み

(2) 社員削除

① 退職等で社員削除の場合は「社員名一覧」から社員を選択し「社員情報」表示, [削除]ボタン押下で対象の社員情報を DB から削除

8. 行事登録画面



(1) [×](右上)押下で【メイン(カレンダ)画面】表示

(2) 行事の新規登録

① [新規]ボタン押下で「行事番号」を自動採番(最後の番号+1),行事内容/備考(行事説明)を入力し[書込]ボタンで DB に登録

(3) 行事の修正登録

① 「行事一覧」の行事名を選択し行事内容/備考(行事説明)を変更し[書込]ボタンで DB に変更書込

② , [削除復元]ボタン押下で「行事一覧」に表示の行事を選択し[書込]ボタン押下で復元再表示

(4) 行事の削除

① 「行事一覧」の行事名を選択し[削除]ボタンで削除フラグ設定(「行事一覧」から削除)

(5) 行事の印刷

① [印刷]ボタン押下で登録された行事をプリント出力

9. メンバ登録画面

(1) [×](右上)押下で【メイン(カレンダ)画面】表示

(2) メンバの新規登録

① [新規]ボタン押下で「メンバ番号」を自動採番(最後の番号+1),メンバ情報入力し[書込]ボタンで DB 登録

(3) メンバの修正登録

① 「メンバー覧」の氏名を選択しメンバ情報を変更し[書込]ボタンで DB に変更書込,

② [削除復元]ボタン押下で「メンバー覧」に表示の氏名を選択し[書込]ボタン押下で復元再表示

(4) 名簿の削除

① 「メンバー覧」の氏名を選択し[削除]ボタンで削除フラグ設定(「メンバー覧」から削除)

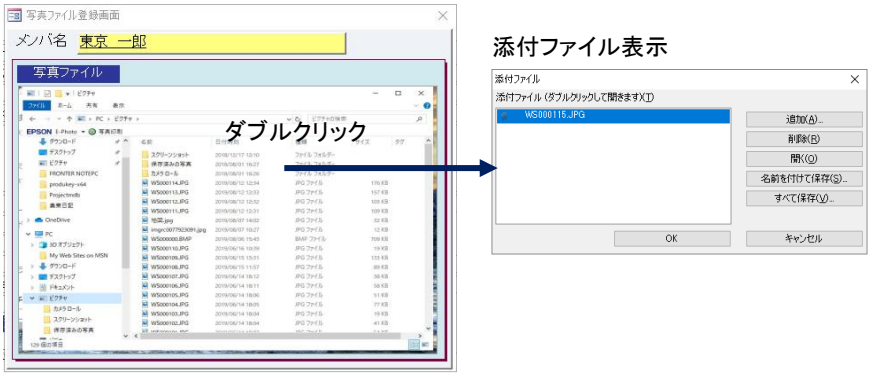
② [削除復元]ボタン押下で「メンバー覧」に表示の氏名を選択し[削除]ボタン押下で DB から削除

(4) メンバデータの Excel ファイル出力

① [出力]ボタン押下で【フォルダ選択画】面を表示,選択で指定のフォルダに名簿 Excel 出力

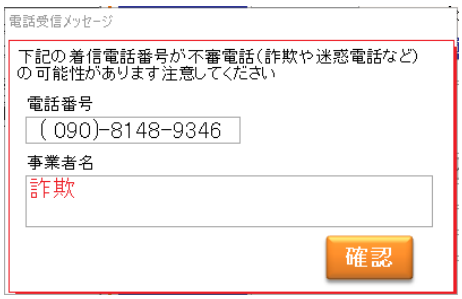
(5) 写真の登録

① [写真]ボタン押下で【名簿写真画面】を表示,「写真」エリアをダブルクリックで【添付ファイル】画面を表示,[追加]/[削除]ボタンでファイルを追加/削除

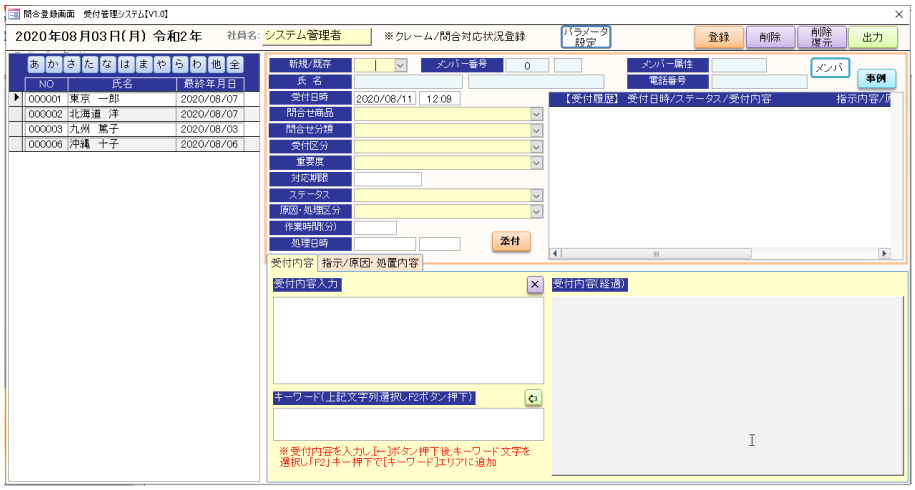


(6) 電話受信メッセージの表示

CTI 連携設定の場合，電話番号受信でメンバ情報の電話番号に登録されていない場合【メンバ登録画面】と【電話受信メッセージ】を自動表示し電話番号検索 URL の検索結果を表示(「会社名」/「会社代表電話番号」/「住所」/「電話番号(主)」に設定)



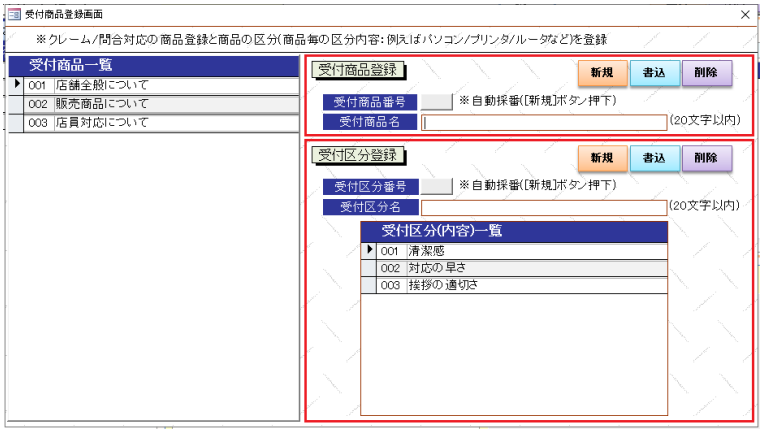
10. 問合登録画面



(1) [×](右上)押下で【メイン(カレンダ)画面】表示

10-1 問合せ商品等の登録

※[パラメータ設定]ボタン押下し[受付商品]ボタン押下で【受付商品登録画面】表示



(1) [×](右上)押下で画面を閉じる

(2) 受付商品登録/変更/削除

① 「受付商品」の新規登録の場合,「受付商品登録」の[新規]ボタン押下し「受付商品番号」を自動採番,「受付商品名」を入力し[書込]ボタン押下で DB 登録

② 「受付商品」の内容変更の場合,「受付商品登録」の「受付商品一覧」から商品を選択し「受付商品名」を変更し,[書込]ボタン押下で DB 再登録

③ 「受付商品」の削除の場合,「受付商品登録」の「受付商品一覧」から商品を選択し,[削除]ボタン押下で DB から削除(連携する受付区分も一緒に削除)

(2) 受付区分登録/変更/削除

① 「受付区分」の新規登録の場合,「受付商品一覧」から受付商品を選択し「受付区分登録」の[新規]ボタン押下し受付区分番号を自動採番, 受付区分名を入力し[書込]ボタン押下で DB 登録

② 「受付区分」の内容変更の場合「受付商品一覧」から受付商品を選択し「受付区分一覧」から受付区分を選択し,受付区分名変更し[書込]ボタン押下で DB 登録

③ 「受付区分」の削除の場合, 受付商品一覧」から受付商品を選択し「受付区分一覧」から受付区分を選択し[削除]ボタン押下で DB から削除

10-2 問合項目の登録

※[パラメータ設定]ボタン押下し[問合項目]ボタン押下で【問合項目登録画面】表示

(1) [×](右上)押下で画面を閉じる

(2) 受付分類登録/変更/削除

① 「受付分類」の新規登録の場合「受付分類登録」の[新規]ボタン押下し受付分類番号を自動採番,受付分類名を入力し[書込]ボタン押下し DB 登録

② 「受付分類」の内容変更の場合「受付分類一覧」の「受付分類」を選択し受付分類名を変更し[書込]ボタン押下し DB 再登録

③ 「受付分類」の削除の場合「受付分類一覧」の「受付分類」を選択し「受付分類登録」の[削除]ボタン押下し DB から削除

(3) 原因・処置登録/変更/削除

① 「原因・処置」の新規登録の場合「原因・処置登録」の[新規]ボタン:受付分類番号を自動採番,原因・処置名を入力し[書込]ボタン押下し DB 登録

② 「原因・処置」の内容変更の場合「原因・処置一覧」の「原因・処置」を選択し[書込]ボタン押下し DB 再登録

③ 「原因・処置」の削除の場合「原因・処置一覧」の「原因・処置」を選択し[削除]ボタン押下し DB から削除

(4) ステータス登録/変更/削除

① 「ステータス」の新規登録の場合「ステータス登録」の[新規]ボタン:ステータス番号を自動採番,ステータス名を入力し[書込]ボタン押下で DB 登録

② 「ステータス」の内容変更の場合「ステータス一覧」の「ステータス」を選択し[書込]ボタン押下で DB に再登録

③ 「ステータス」の削除の場合「ステータス一覧」の「ステータス」を選択し[削除]ボタン押下で DB から削除

10-3 問合せ登録

(1) 新規問合せ登録の場合

① 「メンバー一覧」から氏名を選択し[新規]を選択

② 「,問合内容」の受付内容/ステータス(選択項目)を選択,その他情報と[受付内容]/[指示/原因・処置内容]タグエリアに対応内容を入力

③　[受付内容入力]の文字列を選択,F2 キー押下しキーワード登録(必要に応じ複数キーワード設定)

④　[登録]ボタン押下し DB 登録

(2)　既存問合せの更新の場合

①　「メンバー覧」から氏名を選択し「過去問合一覧」(右)から以前問合の内容を選択で[既存]と受付内容を表示(「問合せ商品」選択で「過去問合一覧」(右)の表示絞込)

②　[ステータス]/[原因・処置区分]を変更, [受付内容]/[指示/原因・処置内容]タグエリアに追加対応内容を入力

③　必要に応じ[受付内容入力]の文字列を追加選択,F2 キー押下しキーワード追加登録(必要に応じ複数キーワード設定)

④　[登録]ボタン押下し DB 更新登録

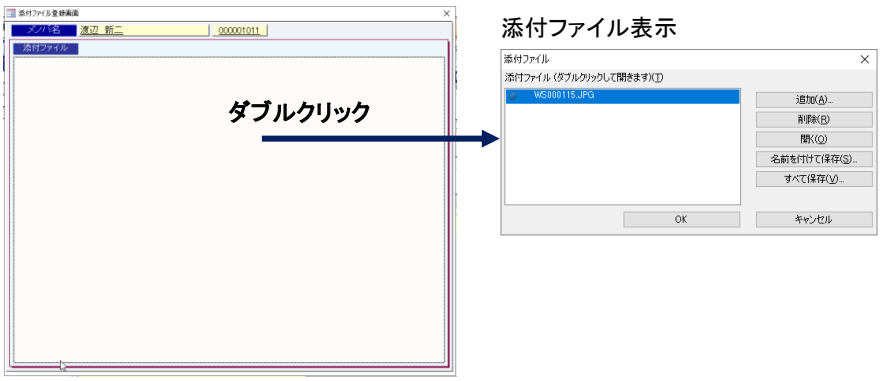
(3)　過去の問合事例を検索する場合

※問合せ受付登録/対応等で過去事例を参照する場合

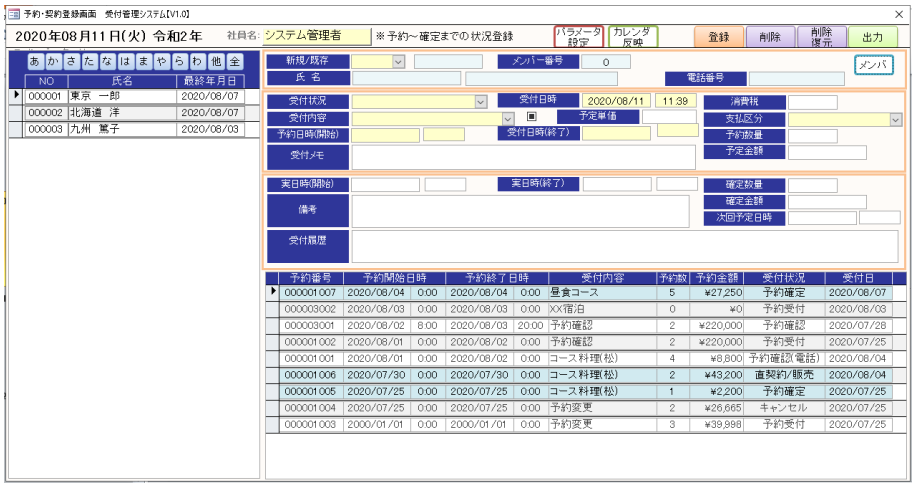
①　[事例]ボタン押下し【受付内容検索画面】表示,[問合商品]/[受付区分]/[受付内容キーワード]を入力し[検索]ボタン押下で問合事例の絞込結果を表示(キーワード合致率(%)表示)

②　「問合事例一覧」から対象(左部)を押下すると【問合内容詳細画面】を表示,過去の問合対応内容から一次対応

(4)　問合せ登録で添付ファイルがある場合,[添付]ボタン押下し【添付ファイル登録画面】表示,「添付ファイル」エリアをダブルクリックで【添付ファイル】画面表示で[追加]ボタン押下しファイル登録,



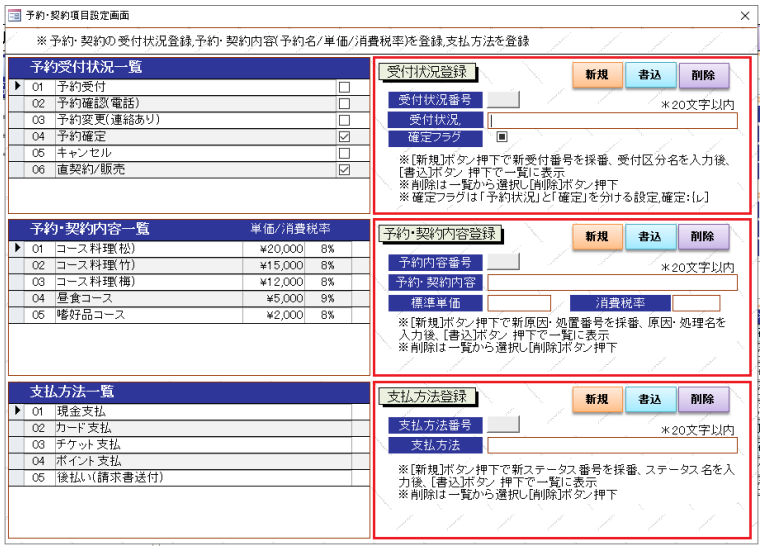
11. 予約登録画面



(1) [×](右上)押下で【メイン(カレンダ)画面】表示

11-1 予約項目設定

※[パラメータ設定]ボタン押下し【予約項目設定画面】表示



(1) [×](右上)押下で画面を閉じる

(2) 受付状況登録/更新/削除

① 「受付状況」の新規登録の場合,「受付状況登録」の[新規]ボタン押下で受付状況番号を自動採番,受付状況名を入力し[登録]ボタン押下で DB に登録

② 「受付状況」の内容変更の場合,「受付状況登録」の「受付状況一覧」から選択し受付状況名を変更し[登録]ボタン押下し DB に登録(予約・契約の状況を予約中と確定を判断するため確定フラグを設定)

③ 「受付状況」の削除の場合, 「受付状況登録」の「受付状況一覧」から選択し「受付状況登録」の[削除]ボタン押下で DB から削除

(3) 予約・契約内容登録/更新/削除

① 「予約・契約内容」の新規登録の場合,「予約・契約内容登録」の[新規]ボタン:予約・契約内容番号を自動採番,予約・契約内容を入力し[登録]ボタン押下で DB に登録

② 「予約・契約内容」の内容変更の場合,「予約・契約内容登録」の「予約・契約内容一覧」から選択し予約・契約内容を変更し予約・契約内容名を変更した内容を DB に登録

③ 「予約・契約内容」の削除の場合,「予約・契約内容登録」の「予約・契約内容一覧」から選択し[削除]ボタン押下で DB から削除

(4) 支払方法登録/更新/削除

① 「支払方法」の新規登録の場合,「支払方法登録」の[新規]ボタン：支払方法番号を自動採番,支払方法を入力し[登録]ボタン押下で DB に登録

② 「支払方法」の内容変更の場合,「支払方法登録」の「支払方法一覧」から選択し支払方法名を変更し[登録]ボタン押下で DB に登録

③ 「支払方法」の削除の場合,「支払方法登録」の「支払方法一覧」から選択し[削除]ボタン押下で DB から削除

11−2 予約・契約の登録

(1) 新規予約・契約の場合

① 「メンバー一覧」からメンバを選択,[新規]を選択

② 予約・契約内容(受付内容/予約・契約日時/件数/金額など)を選択/入力し[登録]ボタン押下し DB 登録(「予約・契約一覧」に追加表示)

③ 1～2回/日程度で[カレンダ反映]ボタンを押下し,登録した予約・契約内容(件数/金額)を反映

(2) 既存予約・契約の更新の場合

① 「メンバー一覧」からメンバを選択,「予約・契約一覧」(右下)から予約・契約内容を選択で「予約・契約内容」(右上)に表示

② 予約・契約内容(受付内容/予約・契約日時/件数/金額など)を変更(予約から確定の場合,実日時/件数/金額等を入力：実日時入力で予約日時を書替え)し,[登録]ボタン押下し DB 更新登録

③ 1～2回/日程度で[カレンダ反映]ボタンを押下し,登録した予約・契約内容(件数/金額)を反映

(3) 予約・契約の削除の場合

① 「メンバー一覧」からメンバを選択,「予約・契約一覧」(右下)から予約・契約内容を選択で「予約・契約内容」(右上)に表示

② [削除]ボタン押下で削除フラグ設定(「予約・契約一覧」(右下)から削除)

③ [削除復元]ボタン押下で削除フラグの予約・契約が「予約・契約一覧」(右下)に表示,選択した予約・契約を表示[登録]ボタン押下で再度普通表示

④ 1～2回/日程度で[カレンダ反映]ボタンを押下し,登録した予約・契約内容(件数/金額)を反映

12. 仕入登録画面

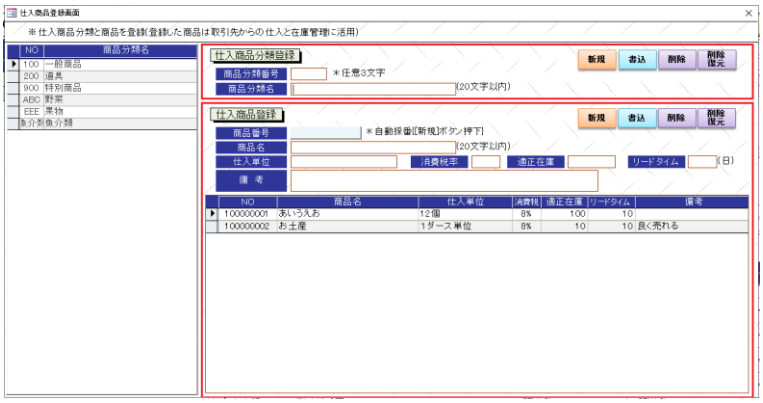
(1) [×](右上)押下で【メイン(カレンダ)画面】表示

(2) 「取扱商品一覧」は「メンバー一覧(取引先)」で選択した取引先が扱う商品を表示

(3) 「仕入商品一覧」は「メンバー一覧」で選択し「取扱商品一覧」で選択した商品の「仕入数」/「仕入金額」等の登録商品を表示

12-1 仕入商品分類と仕入商品の登録

※[パラメータ設定]ボタンを押下[仕入商品登録]ボタン押下し【仕入商品登録画面】表示



(1) [×](右上)押下で画面を閉じる

(2) 仕入商品分類の登録/変更/削除

① 「仕入商品分類登録」の[新規]ボタン押下で商品分類番号の自動採番,「商品分類名」を入力し[書込]ボタン押下で DB 登録(「仕入商品分類一覧」(左)に追加表示)

② 仕入商品分類名の変更の場合,「仕入商品分類登録」の[商品分類一覧](左)から商品分類を選択し「商品分類名」を変更し[書込]ボタン押下で DB 登録

③ 仕入商品分類の削除の場合,「仕入商品分類登録」の[商品分類一覧](左)から商品分類を選択し[削除]ボタンで削除フラグの設定,「商品分類一覧」表示から削除(同時に仕入商品も削除)

④ 削除の仕入商品分類の復元の場合,「仕入商品分類登録」の[削除復元]ボタンし削除された商品分類を「商品分類一覧」(左)に表示,選択し[登録]ボタン押下で復元再表示(同時に仕入商品も再表示)

(3) 仕入商品の登録/変更/削除

① 仕入商品を追加登録の場合, [商品分類一覧](左)から商品分類を選択し「仕入商品登録」の[新規]ボタン押下で仕入商品番号を自動採番,「商品名」/「仕入単位」/「消費税」/「適正在庫」/「リードタイム」等を入力し[登録]ボタン押下で DB 登録(「仕入商品一覧」(右下)に追加表示)

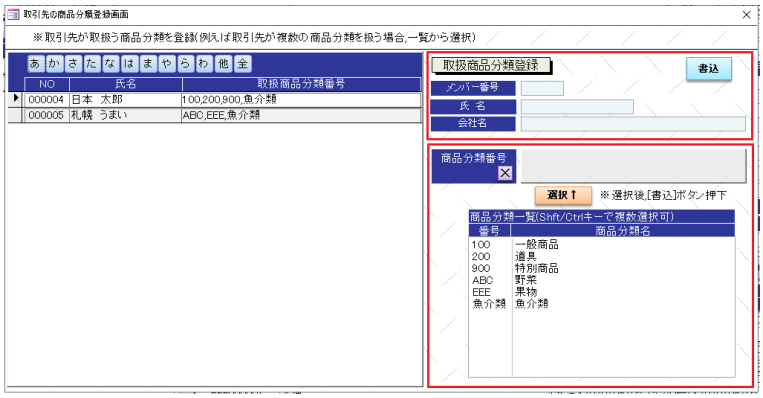
② 仕入商品内容を変更する場合,「仕入商品一覧」(右下)から仕入商品を選択し「商品名」/「仕入単位」/「消費税」/「適正在庫」/「リードタイム」等を変更し[登録]ボタン押下で DB 登録(「仕入商品一覧」(右下)に追加表示)

③ 仕入商品内容を削除する場合,「仕入商品一覧」(右下)から仕入商品を選択し「仕入商品登録」の[削除]ボタン押下で削除フラグ設定,「仕入商品一覧」(右下)表示から削除

④ 削除の仕入商品の復元の場合,「仕入商品登録」の[削除復元]ボタンし削除された商品名を「仕入商品一覧」(右下)に表示し,[登録]ボタン押下で復元再表示

12-2 取引先の商品の登録

※[パラメータ設定]ボタンを押下[取引先商品登録]ボタン押下し【取引先の商品登録画面】表示



(1) [×](右上)押下で画面閉じる

(2) 「取引先」の取扱商品分類の登録/変更

① 「メンバー一覧」(取引先)からメンバを選択

② 「取扱商品一覧」(右下)から仕入商品を選択(Shiift/Ctrl キー押下しながら商品選択:)し[選択↑]ボタン押下で「商品分類番号」に商品分類を表示([×]ボタン押下で「商品分類番号」を消去)

③ [書込]ボタン押下で DB 登録

12-3 仕入商品の追加登録/削除/復元

※仕入商品は「処理状況」(発注/確定/納品/返品等)を登録し履歴を登録してください

(1) 仕入商品の追加登録

① 「メンバー一覧」(取引先)からメンバを選択(「取扱商品一覧」を表示)

② 「取扱商品一覧」(右上)の商品を選択(仕入商品内容を表示)

③ ③仕入商品の「処理状況」(発注等)/「仕入数」/「金額」/「割引金額」/「納品予定日」/「連絡メモ」を入力し[商品選択]ボタン押下で「仕入商品一覧」(右下)に追加表示

(2) 仕入商品の変更登録

① 「メンバー一覧」(取引先)からメンバを選択(「取扱商品一覧」を表示)

② 「取扱商品一覧」(右上)の商品を選択(仕入商品内容を表示)

③ 「仕入商品一覧」(右下)から仕入商品を選択,「処理状況」(納品等)/「仕入数」/「金額」/「割引金額」/「納品予定日」/「連絡メモ」を入力し[商品選択]ボタン押下で「仕入商品一覧」に変更表示

(3) 仕入商品の削除

① 「メンバー一覧」(取引先)からメンバを選択(「取扱商品一覧」を表示)

② 「取扱商品一覧」(右上)の商品を選択(仕入商品内容を表示)

③ 「仕入商品一覧」(右下)から仕入商品を選択,「削除」ボタン押下で「仕入商品一覧」から削除

(4) 削除(削除フラグ)の仕入商品の復元

① 「メンバー一覧」(取引先)からメンバを選択(「取扱商品一覧」を表示)

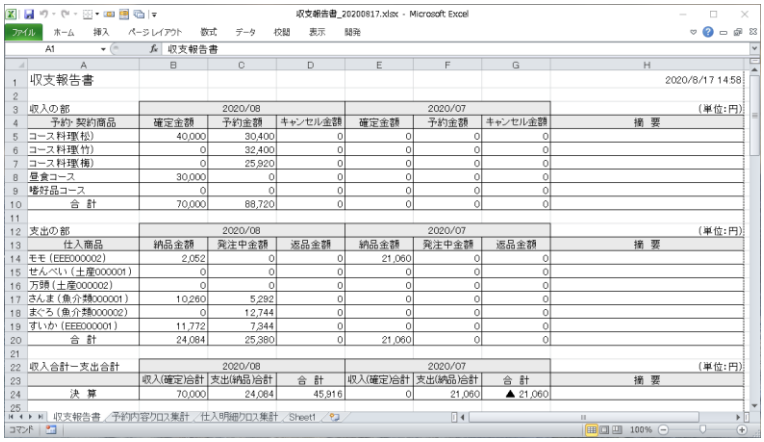
② 「取扱商品一覧」(右上)の商品を選択(仕入商品内容を表示)

③ [削除復元]ボタン押下で「仕入商品一覧」(右下)に表示,仕入商品を選択し[商品選択]ボタン押下で「仕入商品一覧」に復元再表示

(5) 仕入明細や仕入報告書の出力

① 【仕入内容/収支報告書の Excel 出力画面】で[仕入内容出力]ボタン押下で【フォルダ選択】画面で仕入明細データの Excel ファイル出力

② 【仕入内容/収支報告書の Excel 出力画面】で[収支報告書出力]ボタン押下で【フォルダ選択】画面で収支報告書データの Excel ファイル出力



収支報告書

2020/8/17 14:58

収入の部	2020/08			2020/07			(単位:円)
予約-契約商品	確定金額	予約金額	キャンセル金額	確定金額	予約金額	キャンセル金額	摘 要
コース料理(松)	40,000	30,400	0	0	0	0	
コース料理(竹)	0	32,400	0	0	0	0	
コース料理(梅)	0	25,920	0	0	0	0	
昼食コース	30,000	0	0	0	0	0	
嗜好品コース	0	0	0	0	0	0	
合 計	70,000	88,720	0	0	0	0	

支出の部	2020/08			2020/07			(単位:円)
仕入商品	納品金額	発注中金額	返品金額	納品金額	発注中金額	返品金額	摘 要
モモ (EEE000002)	2,052	0	0	21,060	0	0	
せんべい (土産000001)	0	0	0	0	0	0	
万頭 (土産000002)	0	0	0	0	0	0	
さんま (魚介類000001)	10,260	5,292	0	0	0	0	
まぐろ (魚介類000002)	0	12,744	0	0	0	0	
すいか (EEE000001)	11,772	7,344	0	0	0	0	
合 計	24,084	25,380	0	21,060	0	0	

収入合計ー支出合計	2020/08			2020/07			(単位:円)
	収入(確定)合計	支出(納品)合計	合 計	収入(確定)合計	支出(納品)合計	合 計	摘 要
決 算	70,000	24,084	45,916	0	21,060	▲ 21,060	

13. 在庫管理画面

(1)　[×](右上)押下で【メイン(カレンダ)画面】表示

(2)　棚卸の実施

①　[全商品表示]で「在庫一覧」を表示または「商品分類絞込」を選択した「在庫一覧」を絞込表示

②　[棚卸開始]ボタン押下し「在庫一覧」の「在庫数」(黄色)を直接変更可能(最終棚卸日を更新)

③　在庫数変更の後,[棚卸終了]ボタン押下で「在庫一覧」を再表示(変更不可)

④　[削除商品]ボタン：仕入商品で削除(削除フラグ)の「在庫一覧」を表示

(3)　商品の支出/仕入履歴の表示

※「在庫一覧」の対象商品を選択で【商品支出登録画面】を表示

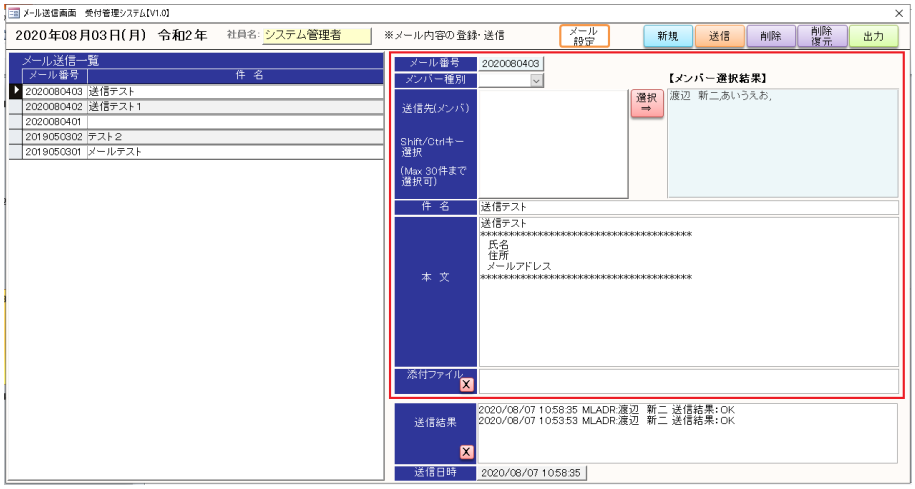
(4)　在庫データの Excel ファイル出力

①　[出力]ボタン押下で【フォルダ選択】画面を選択で対象商品の支出データと仕入データを Excel ファイル出力(任意のフォルダに出力

14. メール送信画面

※インターネットメールを使用するには,サービスプロバイダとの契約が必要です

※セキュリティの観点から宛先メールアドレスは BCC(非表示)で送信します

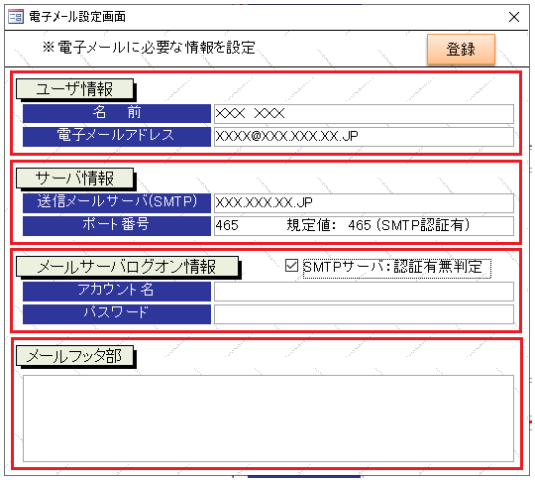


(1) [×](右上)押下で【メイン(カレンダ)画面】表示

14-1電子メール設定

(1) [メール設定]ボタン押下し【電子メール設定画面】表示

プロバイダーと契約し ID(アカウント),パスワード,メールアドレスを取得する必要があります



<<ユーザ情報>>

・差出人の設定:「名前」と「電子メールアドレス」

<<サーバ情報>>

・「送信メールサーバ(SMTP)」と「ポート番号」

<<メールサーバログオン情報>>

・「SMTP 認証の有無設定」と「カウント名」.「パスワード」

<<メールフッタ部>>

・メール本文のフッタ部に定型文字を設定

【ポート番号と SMTP 認証と関係】

① ポート番号:25(暗号化なし通信。SMTP 認証は使えない)

主に受信用のポート,特定のネットワークアドレス(社内 LAN など)からから認証なしで送信に使用

[メールサーバログオン設定]の「SMTP サーバ認証」のチェックを外す

② ポート番号:465(SMTPS(over SSL)を使用。SMTP 認証は使える)

主に送信用のポート,SMTP 認証に成功した場合のみ送信を許可

[メールサーバログオン設定]の「SMTP サーバ認証」をチェックし「[アカウント名]と「パスワード」の設定必要

ポート番号	SMTP認証	SSL通信	アカウント名	パスワード
25	無	暗号化無	不要	不要
465	有	暗号化有	必要	必要

(gmail の設定例:実際にアカウント/パスワードを取得し送信実績あり)

項目		例
ユーザ情報	名前	日本　太郎
	メールアドレス	nippontaro@gmail.com
サーバ情報	送信メールサーバ	smtp.googlemail,com
	ポート番号	465
メールサーバログオン情報	SMTP認証	チェック設定（レ）
	アカウント名	Gmailアカウント(Nippontaro)
	パスワード	Gmailパスワード(password)

（注)【Gmail のセキュリティ設定】

本機能で Gmail サーバ経由でメール送信する場合 Gmail 側でセキュリティ設定の変更が必要

Google アカウントでログインした状態で「安全性の低いアプリを許可」ページを開き,「有効にする」にチェックを入れるこの設定を行わないとメール送信しようとした時にアクセスがブロックされる

14-2 電子メール送信

(1) メール送信

① [新規]ボタン押下しメール番号を自動採番(メール内容をクリア)

② 「メンバ種別」を選択,表示の「送信先(メンバ)」から Shift/Ctrl キーと同時にメンバを選択し[選択→]ボタン押下し「メンバ選択結果」に表示

③ メール内容([件名],[本文],[送信先],[添付ファイル])を入力し[送信]ボタン押下で DB 登録し,表示内容をメール送信(※送信先で設定のメンバにメール送信)

④ 「送信結果」はメール送信の結果を表示, ,[X]ボタン押下で表示の内容をクリア

【結果例　送信年月日時間 送信先グループ 送信結果:OK/NG エラー内容】

・送信成功例:2020/08/04 16:16:27 MLADR:送信先名送信結果:OK

尚,送信結果:OK でも宛先メールアドレスで正しく送信済みか否かはメーラー(メールソフト)の受信トレイに不正内容の有無を確認してください

・送信失敗例:2019/05/03 8:31:33 MLADR:送信先名 送信結果:NG ERR_No=-2147220973 転送においてサーバーに接続できませんでした。・・・・(原因)プロバイダーから提供されるメールサーバ名/SMTP 認証/SSL 通信等の組合わせが正しくない

・送信失敗例:2019/05/22 10:20:38 MLADR:送信先名送信結果:NG ERR_No=-2147024894 指定されたファイルが見つかりません。・・・・(原因)添付ファイルのファイル名が正しくない/存在しない

(2) メール再送信

① 「メール送信一覧」からメールを選択しメール内容を表示

② 「メンバ種別」を選択,表示の「送信先(メンバ)」から Shift/Ctrl キーと同時にメンバを選択し[選択→]ボタン押下し「メンバ選択結果」に表示

③ メール内容([件名],[本文],[送信先],[添付ファイル])を入力し[送信]ボタン押下で DB 再登録し,表示内容をメール送信(※送信先で設定のメンバにメール送信)

④ 「送信結果」はメール送信の結果を表示, ,[X]ボタン押下で表示の内容をクリア

【結果例　送信年月日時間 送信先グループ 送信結果:OK/NG エラー内容】

・送信成功例:2020/08/04 16:16:27 MLADR:送信先名送信結果:OK

尚,送信結果:OK でも宛先メールアドレスで正しく送信済みか否かはメーラー(メールソフト)の受信トレイに不正内容の有無を確認してください

・送信失敗例:2019/05/03 8:31:33 MLADR:送信先名 送信結果:NG ERR_No=-2147220973 転送においてサーバーに接続できませんでした。・・・・(原因)プロバイダーから提供されるメールサーバ名/SMTP 認証/SSL 通信等の組合わせが正しくない

・送信失敗例:2019/05/22 10:20:38 MLADR:送信先名送信結果:NG ERR_No=-2147024894 指定されたファイルが見つかりません。・・・・(原因)添付ファイルのファイル名が正しくない/存在しない

(3) メール削除

① 「メール送信一覧」のメールを選択し[削除]ボタン押下で削除(削除フラグ設定),「メール送信一覧」(左)から削除

(4) 削除メールの復元

① [削除復元]ボタン押下で削除したメールを「メール送信一覧」(左)に表示,削除メールを選択し[送信]ボタン押下で復元再表示

(5) メール内容の Excel 出力

① [出力]ボタン押下で【フォルダ選択】画面でフォルダ選択でメール内容を容を Excel ファイルに出力(任意のフォルダに出力)

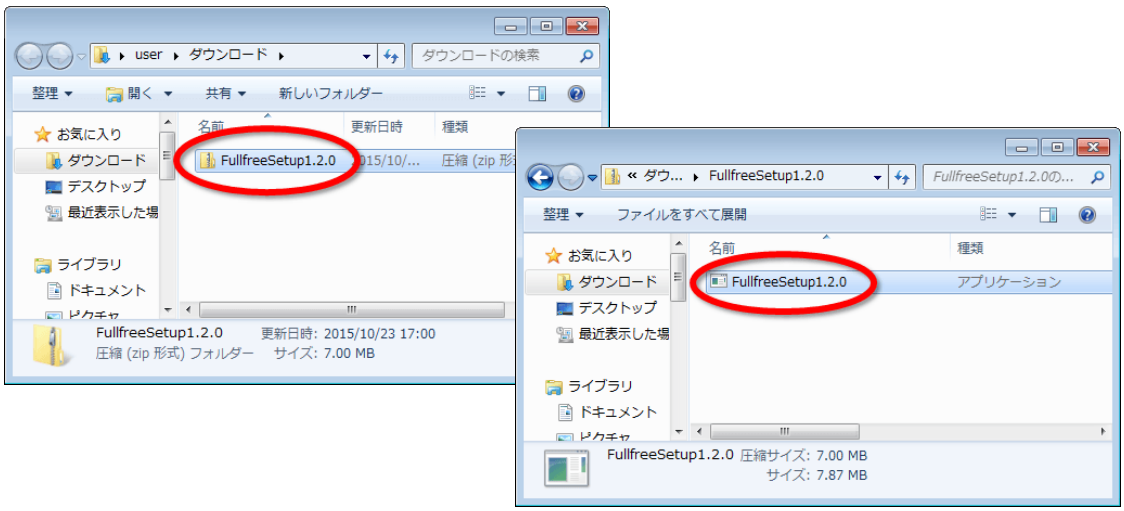
15. FullFree(CTI 連携)の導入例(FullFree の HP より引用)

(1) ダウンロード

https://www.fullfree.jp/「ホーム」の[ダウンロード]ボタンからインストーラをダウンロード(Fullfree は無料の Windows アプリケーションで,バージョンアップも無料) ※詳細は FullFree の HP を参照してください

(2) インストーラの実行

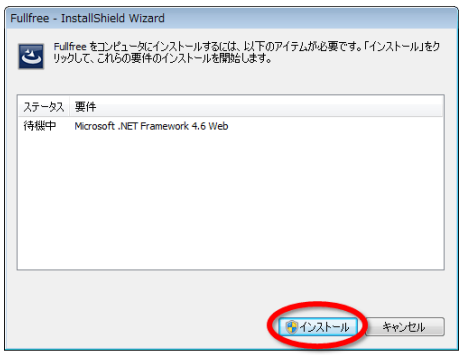
ダウンロードした FullfreeSetupX.X.X(X.X.X はバージョン番号)をダブルクリックして開いて,
更に,FullfreeSetupX.X.X をダブルクリックして実行



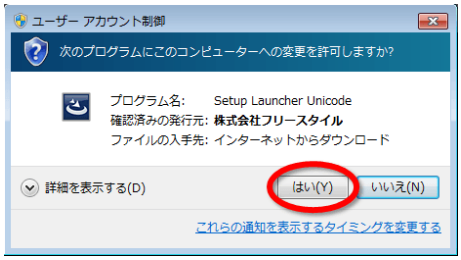
下記の画面が表示されたら[実行]ボタンを押下

(3) .NET Framework 4.7 のインストール

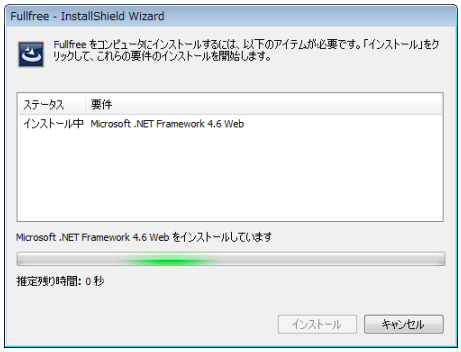
本ソフトウェアでは,.NET Framework 4.7 のインストールが必要,[インストール]ボタンを押下



※既に .NET Framework 4.7 が入っているパソコン(例: Windows 10)では,下記のダイアログは出ないので「4. Fullfree のインストール」に進んで下さい



「ユーザ アカウント制御」のダイアログが出たら,[はい]を押下(※OS の種類によっては,[続行]や[許可]を押下)



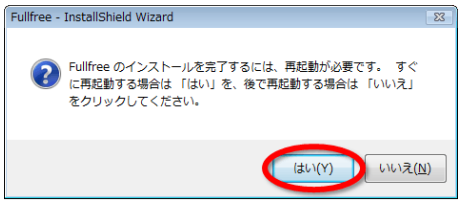
.NET Framework 4.7 がインストールされるので,しばらくお待ち下さい

しばらく時間が掛かります。

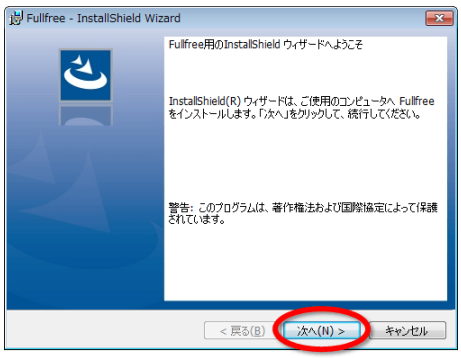
※.NET Framework 4.7 のインストールに失敗する場合,直接マイクロソフト社のサイトからダウンロードしてインストール

.NET Framework 4.7 のインストール終了後に再起動が必要な場合があります。その場合は再起動をして下さい。そして,再度 FullfreeSetupX.X.X を実行してください。

(4) Fullfree のインストール



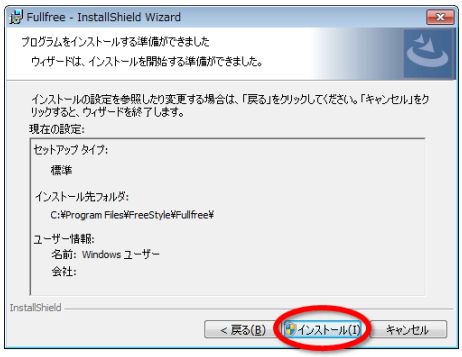
「Fullfree 用の InstallShield ウィザードへようこそ」が出たら[次へ]を押して下さい。

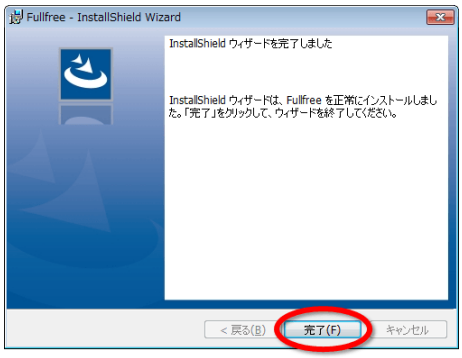


インストール内容の確認ダイアログが出ます。[インストール]を押して下さい。

「ユーザ アカウント制御」のダイアログが出たら,[はい]を押して下さい。

※OS の種類によっては,「続行」や「許可」を押して下さい。

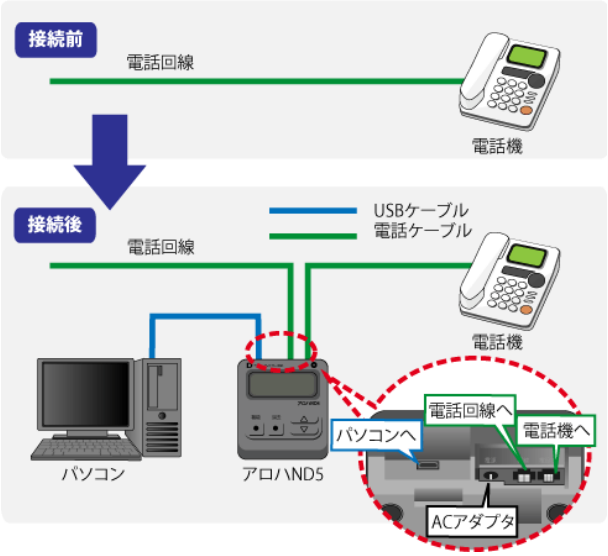




しばらくしたらインストール完了,[完了]ボタンを押下

デスクトップに Fullfree アイコンが出来たら,起動,,新規データベースを作成(後記,使い方を参照,デモデータは受付管理システムでは不要)

(5) 『ナンバーディスプレイアダプタ アロハ ND5』接続(詳細は FullFree の「使い方」-「CTI 導入手順」を参照)



一般加入電話,ADSL,ISDN,光回線(au やソフトバンクなどの光電話),IP 電話など一般の家庭用電話機(アナログの電話機)をお使いの場合は,アロハ ND5 というアダプタで CTI システムが利用可能

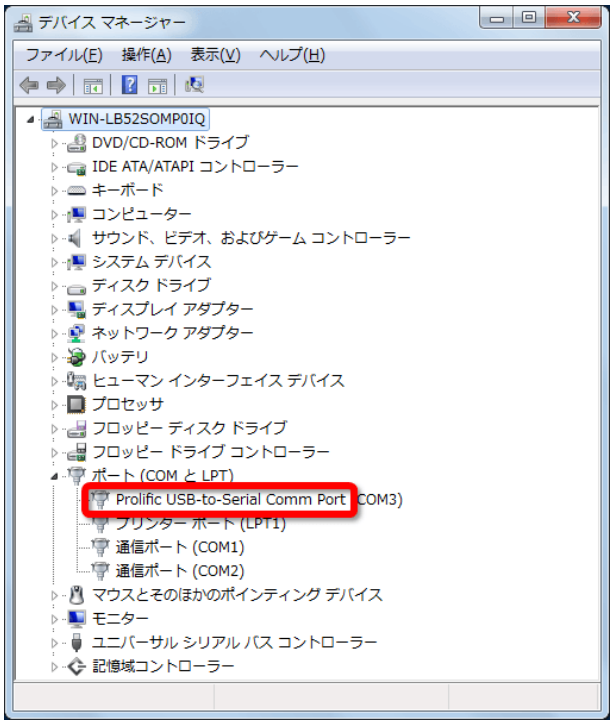
(6) アダプタの接続と『アロハ ND5』を接続でドライバソフトが自動インストールされる

(注)ドライバソフト(PL2303_Prolific_DriverInstaller～ で始まるファイル)をインストール,その後下記のようにアロハ ND5 を接続,ドライバソフトを先にインストールしたほうがトラブルになりにくい

(アロハ ND5 は USB 給電されるので AC アダプタは不要ですが,念のため接続が望ましい)

接続する電話機がナンバーディスプレイ対応か非対応かの設定があり,初期設定は「非対応」,この設定は Fullfree からも可能。尚,電話機を接続せずに使う場合は「非対応」を選択

(7) 接続の確認



正しくドライバソフトのインストールと機器の接続が出来ているか,下記の点を確認

・電話を鳴らすと,電話番号がアロハ ND5 のディスプレイに表示されること。

・デバイスマネージャの「ポート」に「Prolific USB-to-Serial Comm Port」が表示されていること。

デバイスマネージャは,Fullfree の［CTI］→[CTI 設定］メニューで表示されるダイアログの［デバイスマネージャを開く］のボタンからでも開ける

電話を掛けて着信動作を確認

(8) 実運用(受付管理システムで FullFree の新規データベースを使用する例)

(1) データベースの作成

受付管理システムとの CTI 連携では簡易的な FullFree データベース(空)で運用

① FullFree プログラムを起動,[ファイル]-[新規作成]を実施

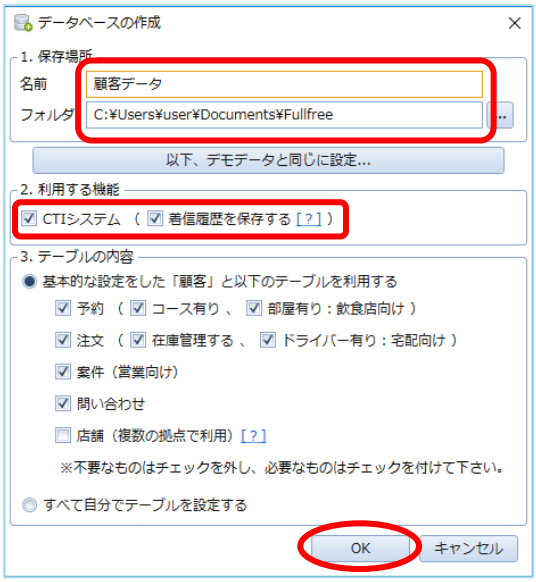
② 「データベースの作成」画面で下記の設定

[1. 保存場所] **名前(任意:CTI 連携)/フォルダ(受付管理システム.accde プログラムと同じフォルダ)**

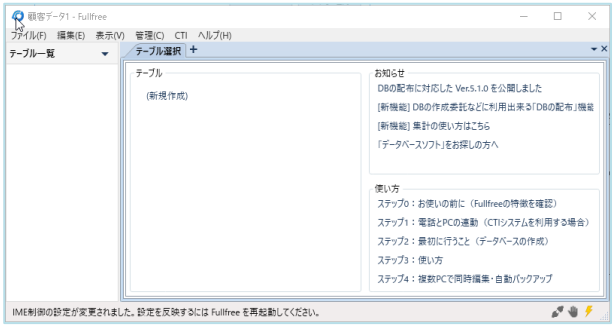
[2. 利用する機能] **CTI システム:[レ]/着信履歴を保存する:[レ]**

[3. テーブルの内容] 全てのテーブル項目のチェックを外す

[OK]ボタンを押下で新規データベース作成

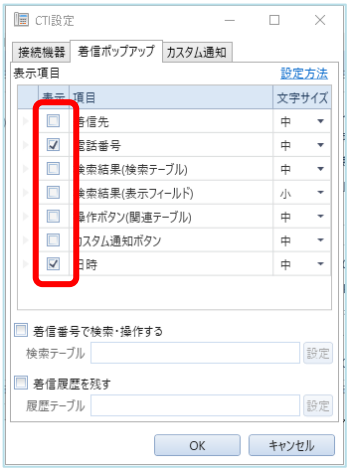


③　作成したデータベースを起動(例：CTI 連携)



(2)　新規データベースの設定

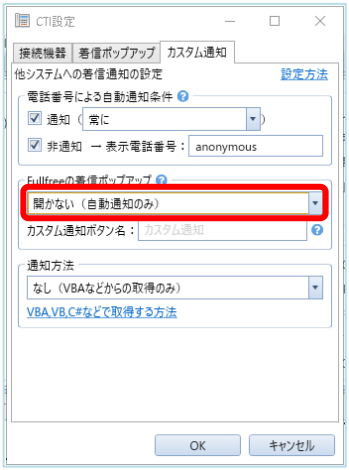
①　着信ポップアップ



[CTI]-[CTI 設定]から設定ダイアログを開き,「着信ポップアップ」タブで「電話番号」/「日時」にチェック

詳細は「CTI ポップアップ設定」をご覧下さい。

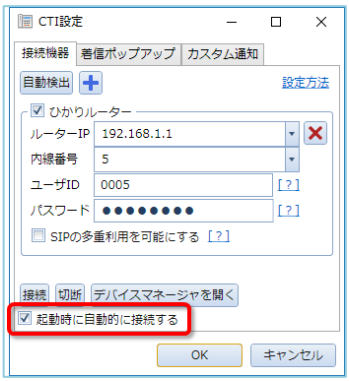
②　カスタム通知



[CTI]-[CTI 設定]から設定ダイアログを開き,「カスタム通知」タブで「FullFree の着信ポップアップ」：開かない(自動通知のみ)を選択

詳細は「CTI ポップアップ設定」をご覧下さい。

(3)　新規データベースの設定



[CTI]-[接続]　接続機器設定で,「起動時に自動的に接続する」をオンにするとデータベースを開いたら自動的に CTI 接続

詳細は「CTI ポップアップ設定」をご覧下さい。

-以上-